

日本生命倫理学会会報 No.58

●目次

第29回年次大会のお知らせ……………1	公募セッション・一般演題募集のお知らせ……………2
新年度会費納入のお願い……………3	会員調査カードご返送のお願い……………3
第30回年次大会のお知らせ……………4	若手論文奨励賞授賞者発表……………4
若手育成助成募集のお知らせ……………4	事務局からのお知らせ……………4

日本生命倫理学会事務局
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町17-1
日本橋ロイヤルプラザ9F 904 号室
Tel. & Fax. 03-6231-0576
E-mail jab@nifty.com
URL <http://ja-bioethics.jp/>

◇ 第29回年次大会のお知らせ ◇

第29回日本生命倫理学会年次大会（大会長 板井孝彦郎）は、2017年12月16日（土）・17日（日）の両日、「臨床倫理・研究倫理コンサルテーションの現在と未来」を大会テーマとして、宮崎県のシーガイア・コンベンションセンター（宮崎県宮崎市山崎町浜山）にて開催されます。

■会期 平成29年12月16日（土）～12月17日（日）

※尚、大会前日プレ企画として12月15日（金）夕方「宮崎大学医学部附属病院 臨床倫理・研究倫理支援体制見学エクスカッション」を予定しています。詳細については、会報や大会 Web ページで今後、お知らせします。

■会場 シーガイア・コンベンションセンター

〒880-8545 宮崎県宮崎市山崎町浜山（会場アクセス詳細 <http://www.seagaia.co.jp/japanese/access/>）

※宮崎空港から会場まで、大会参加者専用の「チャーター・タクシー」を提供する予定です。

*通常「宮崎空港～会場（約25～30分）」小型タクシー1台片道約4,500円～5,000円のところ、4名乗車4,000円（お一人だけの乗車であっても1名分1,000円のお支払いでOKですが、できるだけ多人数での乗車をお願いします）となります。宮崎空港到着ロビー内に「専用案内窓口」を設置します。

※「大会前日プレ企画」の会場は「宮崎大学医学部附属病院」となりますので、ご注意ください。

*宮崎空港・宮崎駅などから、宮崎大学病院までの経路については、下記 URL をご参照下さい。

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/hospital/about/428/>

■大会テーマ 「臨床倫理・研究倫理コンサルテーションの現在と未来」

■実行委員会

板井孝彦郎（大会長、宮崎大学） 岩江荘介（実行委員長、宮崎大学）

武井陽子（大会事務局長、宮崎大学） 三浦由佳里（大会副事務局長・会計担当、宮崎大学）

会田薫子（東京大学） 浅井篤（東北大学） 稲葉一人（中京大学） 大西香代子（甲南女子大学）

門岡康弘（熊本大学） 河原直人（九州大学） 笹月桃子（西南女学院大学） 瀧本禎之（東京大学）

田代志門（国立がん研究センター） 長尾式子（北里大学） 武藤香織（東京大学）

松原洋子（学会企画委員長、立命館大学） 鶴若麻理（学会事務局長、聖路加国際大学）4月1日現在

■事務局 宮崎大学医学部附属病院 中央診療部門 臨床倫理部

〒889-1692 宮崎市清武町木原 5200

TEL & FAX : 0985-85-9395（直通） E-mail : bioethics29@med.miyazaki-u.ac.jp

大会ホームページ : <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/bioethics29/>（4月下旬公開予定）

日本生命倫理学会第29回年次大会 テーマの趣旨ならびに 公募セッション・一般演題募集のお知らせ

大会長 板井孝孝郎（宮崎大学）

<大会テーマの趣旨>

「病院機能評価 3rd G」においても「研究倫理」はもちろんのこと、「臨床倫理」の問題を検討する「場」が設置されているか否かを問う評価項目があり、2017年4月以降「特定機能病院承認要件見直し」においては、診療行為として実施する未承認や適応外の医薬品等を用いた医療や、保険収載があっても当該医療機関で初めて実施する「高難度新規医療技術」についても、安全管理機能強化の観点から組織として把握・審査する「評価委員会」を設けることが義務付けられました。

今後ますます、「安全・安心な医療」は「倫理的な医療」そのものであるという観点からも、倫理コンサルテーションを担う人材育成と、組織的整備が喫緊の課題となるでしょう。今大会が、本邦における「臨床倫理」「研究倫理」をめぐる倫理コンサルテーションの「現在」と「未来」を考察する機会となれば幸いです。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

◆大会テーマ：臨床倫理・研究倫理コンサルテーションの現在と未来

◆特別講演

テーマ：紛争地、被災地、看取りの現場から ～いのちのバトンを受け継ぐために〔仮〕

講演者：國森 康弘 氏（写真家・フォトジャーナリスト）

1998年 京都大学経済学部卒業、2000年 京都大学大学院経済学研究科修士課程修了、神戸新聞社記者、2003年 イラク戦争当取材を機に独立、2007年 英国カーディフ大学ジャーナリズム学部修士号取得、2009年 ナショナルジオグラフィック国際写真コンテスト優秀賞受賞

◆企画シンポジウムほか

- 1) 大会企画シンポジウム（臨床倫理コンサルテーション、研究倫理コンサルテーション）
- 2) パネル・ディスカッション（地域包括ケアと臨床倫理コンサルテーション —その人らしい旅立ちを支える倫理サポートとは？〔仮〕）
- 3) 学会企画シンポジウム

◆公募セッション（シンポジウムならびにワークショップ）

※いずれも3～5件を採択する予定です。

◆一般演題（口演ならびにポスター）

※査読結果によっては口演の希望であっても、ポスター発表となる場合もあります。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| A) 生命倫理の基本概念 | H) 終末期医療 |
| B) 研究倫理、産学連携 | I) 宗教、思想、文化 |
| C) 先端医療技術、医療化 | J) 環境・自然保護、大規模災害 |
| D) 医療経済、資源配分、公共政策 | K) 医療安全、医薬品評価 |
| E) 臨床倫理、看護倫理 | L) 生命倫理教育 |
| F) 生殖医療、産育、家族 | M) その他 |
| G) ケア、介護、福祉 | *カテゴリーは暫定のため変更可能性有り。 |

【演題募集期間：2017年5月10日～6月10日】

※詳細は、大会サイト <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/bioethics29/>（4月下旬公開予定）

◇ 新年度会費納入のお願い ◇

新年度（2017 年度）会費のご納入をお願いします。振込用紙（振込料金は学会負担）を同封いたしましたので、下記の金額と支払期日をご確認のうえ、ゆうちょ銀行にてお振り込み下さい。

正会員 7,000円、 学生会員・会友 3,000円
(未納会費のある方には、未納会費との合計金額を記載してあります。)

支払期日：4月30日

※できるだけ振込期限内にお支払下さい。

学会誌「生命倫理」通巻 28 号（現在編集作業中、2017 年 9 月～10 月発行予定）につきましては、2017 年度会費をお支払い下さった正会員の皆様にのみお届けいたします。

※2年以上会費未納の方へのご注意

(1) 役員選挙の選挙権・被選挙権の失効（会則第 4 条第 6 項）（役員選挙細則第 1 条第 4 項）

※4月30日までに2016年度年会費を納めていない正会員は、2017年度第10回役員選挙の選挙権及び被選挙権を失いますので、ご注意ください。

(2) 会費未納による退会扱い（会則第 4 条第 7 項第 2 号）

2 年以上会費未納の会員・会友は、退会扱いとなることがありますので、ご注意ください。

◇ 会員調査カードご返送のお願い ◇

会報 No.57（2017 年 2 月 1 日発行）の発送時にお送りしました「会員調査カード」につきまして、多くの皆様からご返信いただきました。御協力ありがとうございました。今回お知らせいただいた情報を基に会員名簿を発行し、第 10 回役員選挙を実施させていただきます。

【至急ご返送をお願いします！】

返送期日となりましたが、まだご返送いただいていない方は、大至急お送り下さい。

【お心当たりはありませんか？】

お送りいただいた会員調査カードに氏名の記入がないカードが届いています。これからご返信いただく際は、氏名に変更がない場合でも、氏名欄に「変更なし」とのみ記入したり、空欄のまま返送せず、ご氏名は必ずご記入下さい。

氏名の記入がないカードの中には、ご自宅住所の掲載が不可となっているものがあり、ご指示がどなたからのものか不明で困っています。お心当たりの方は、事務局迄ご連絡下さいますようお願いいたします。なお、苗字が変更になった方はその旨明記して下さい。

◇第30回年次大会のお知らせ◇

2018年度第30回日本生命倫理学会年次大会は、京都府立医科大学にて開催の予定です。詳細は決定次第お知らせいたします。

◇「若手育成助成」募集のお知らせ◇

2016年12月4日の日本生命倫理学会総会においてお知らせしたように、日本生命倫理学会の若手研究者を育成するために「若手育成助成」制度を設けることになりました。これは、国際学会において発表する若手研究者への参加費、渡航費等の一部助成、国際ジャーナル掲載にかかる費用の一部助成を行うものです。

申請の募集は年に2回で、今回は2017年7月末が締め切りとなっています。募集要項と申請書類は日本生命倫理学会ホームページにアップされていますのでご覧ください。応募をお待ちしています。

◇『生命倫理』通巻27号 若手論文奨励賞授賞者発表◇

「生命倫理」通巻27号掲載論文の若手論文奨励賞（Japan Association for Bioethics Young Researcher Award,略称JAB Young Researcher Award）授賞者は、以下1名の方に決定し、第28回年次大会総会にて授賞式が行われました。おめでとうございます。

吉田 一史美 氏 「1950年代の日本における乳児の人体実験」

◇事務局からのお知らせ◇

【学会事務局についてのご案内】

受付窓口：原則として、月・火・木曜日 10:00～16:00

（夏季・冬季長期休業あり。詳細は学会ホームページをご覧ください）

電話・ファックス番号：03-6231-0576

電子メール：jab@nifty.com

【各種届出・申し込みについて】

各種変更届、学会誌購入申込、その他の申請書類につきましては学会ホームページよりダウンロードできます。ご記入いただきましたら、郵送、ファックス又は電子メール添付にて事務局までお送り下さい。ダウンロードができない方は、電話・電子メールにてお問い合わせ下さい。

但し、退会届につきましては、ダウンロード書類はございませんので、事務局迄、退会の旨、お申し出下さい。退会希望のお申し出ならびに退会届は前年度内にお済ませ下さい。